

科目名	共生教育研究	担当教員	全専任教員
科目属性	基幹科目	単位数	2単位（面接0.5単位）
<p>【授業の目的・ねらい】</p> <p>星槎大学大学院・星槎大学は、共生社会構築に不可欠な教育理念として人を認める、人を排除しない、仲間を作る、と定めている。社会のあらゆる分野において、人を認め、人を排除せず、仲間を作る人材を育成する共生教育が不可欠である。人を理解する、人を排除しない、仲間を作る資質能力とはなにか、多様な分野において、事例をひもときながら考察する。その考察から、必要な資質・能力を獲得するための教育課題とはなにか、考えを深める。それらの考察から、共生社会構築のための共生教育の探求力を獲得する。</p>			
<p>【授業計画】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション 2. 共生教育についての論考を読む①（教育分野） <ul style="list-style-type: none"> ○経験知と専門知との共生を考える－社会人が大学院で学ぶ意味（三輪建二） ○人権問題と共生－人と人の共生（手島 純） 3. 共生教育についての論考を読む②（心理分野） <ul style="list-style-type: none"> ○無関心と自尊心の心理学。（仁平義明） ○行動分析学で共生を科学する。（杉山尚子） 4. 共生教育についての論考を読む③（特別支援教育分野） <ul style="list-style-type: none"> ○東日本大震災から共生を考える－発達障害児（者）の避難生活に視点を当てて－（千田光久） ○インクルージョン教育～障害の有無だけではなく、人種、性別、年齢、経済状況など ニーズの多様性を認めるために。（西永堅） ○認知と発達の心理学とインクルージョン－発達の個人差を知ることから人と人の関係を考える－。（伊藤一美） 5. 共生教育についての論考を読む④（環境分野） <ul style="list-style-type: none"> ○統合的概念としての「共生」と持続可能な開発のための教育（ESD）の展開。（鬼頭秀一） ○日本の多文化共生社会の未来と開発教育を考える（東 智美） 6. 共生教育についての論考を読む⑤（公共・メディアジャーナリズム分野） <ul style="list-style-type: none"> ○近代国家と国際社会－国と国の共生（大嶋英一） ○トランプの差別的言動を反面教師に共生の尊さを学ぶ（佐々木 伸） ○デジタル技術へのアクセスと生の持続可能性（斎藤 俊則） 			

7. 共生教育についての論考を読む⑥（医療・看護分野）

○共生に向けての基盤的知識：病気、くすり、お金（児玉ゆう子）

人を認める、人を排除しない、仲間を作る資質・能力とは何かについて考察する。

○精神医療と共生教育（松枝美智子）

8. 各教員の論考に対する意見を検討する

9. 共生教育についての討議①（教育・心理分野）（スクーリング）

10. 共生教育についての討議②（特別支援教育分野）（スクーリング）

11. 共生教育についての討議③（環境分野）（スクーリング）

12. 共生教育についての討議④（公共・メディアジャーナリズム分野）（スクーリング）

13. 共生教育についての討議⑤（医療・看護分野）（スクーリング）

14. 人を認める、人を排除しない、仲間を作る資質・能力とは何かについて考察する（スクーリング）

15. まとめ～「共生教育実践演習」に向けての準備

【評価方法】

レポート 25%、スクーリング 25%、科目修得試験 50%

【教科書】

各教員から提供された教材（学生ポータルサイトにアップロード）

【参考図書】

学修指導書に記載